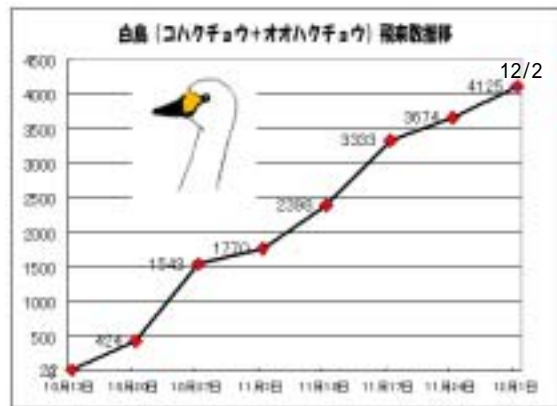


# 佐 潟 通 信

佐潟水鳥・湿地センター

## 佐潟の近況「秋のようす」

10月13日、12羽のコハクチョウが飛来、今季初認しました。その後2ヶ月間でみるみる増え、12月2日には4125羽をカウントしました。2月までの厳しい冬の間、佐潟をねぐらに周辺の水田を採餌場にして越冬します。



## 自然・野鳥情報

主な確認野鳥

9月12日 コガモ初認	10月9日 マガン初認
9月26日 コアジサシ	10月13日 コハクチョウ初認
10月6日 ノスリ初認	10月17日 ヒシクイ初認



11月8日畑に墮ちた白鳥を保護する様子。この日は罅入りと暴風が重なり、地上でとまどう白鳥がたくさんいました。

## 鳥がつなぐ潟と人～佐潟10ラムサールフェスティバル～

12月2、3日行政やNGOで組織された実行委員会の主催により、佐潟ラムサール条約への登録10周年記念イベントを開催しました。詳細は3ページ目をどうぞ。



## 佐潟の野鳥紹介「ヨシガモ」(葦鴨)

中部地方以南の本州に多く飛来します。群れで越冬しますがかなり局地的です。日中は池の中央やあし原など人の入れない岸などで休息しています。夕方になると水田や湖沼、河川などの岸边へ飛んでゆき、イネ科植物の種子などを採食します。北海道の湿原や沼周辺の草地で繁殖します。鳴き声は「ホイッ プルルル」と鳴きます。成鳥雄の頭は、ナポレオンの帽子のような形をしています。佐潟では、冬期に他のカモに混じって渡来しますが、数は非常に少ないです。



カモ目・カモ科  
英名 : Falcated Duck  
学名 : *Anas falcata*

## 佐潟の植物紹介「ヒメシロネ」(姫白根)

山野の湿地に生える多年草です。茎は白色の地下茎から直立し、四角で 30~70cm になります。葉は対生し、長楕円状披針形で長さ 4~8cm、幅 5~15mm。先は細くとがり、ふちに鋭い鋸歯があります。葉のわきに小形で白色の唇形花をつけます。佐潟では自然生態観察園でたくさん観察できます。



花期 8月~10月  
生育地 湿地

シソ科・シロネ属  
学名 : *Lycopus lucidus*



# 鳥がつなぐ潟と人～佐潟 10 ラムサールフェスティバル～

佐潟のラムサール条約登録 10 周年を記念し、佐潟・福島潟・鳥屋野潟の保全や賢明な利用について市民全体レベルで考えていくことを目的とし開催しました。

**12月2日 会場：新潟市万代市民会館**

基調講演「鳥がつなぐ潟と人」

柳生 博 氏（財団法人日本野鳥の会会長）

「鳥がつなぐ」発表「標識調査」・・・千葉 晃 氏（日本鳥類標識協会）

「白 鳥」・・・岡田 成弘 氏（日本野鳥の会新潟県支部）

「3 つ の 潟」発表「佐 潟」・・・涌井 晴之 氏（佐潟と歩む赤塚の会）

「鳥屋野潟」・・・藤田 正 氏（自然豊かな鳥屋野潟とまちづくりをすすめる会）

「福島潟」・・・志田 孝男 氏（福島潟自然文化祭実行委員会）

パネルディスカッション「潟の賢明な利用と私たちの未来」

パネラー

中村玲子 氏・大熊孝 氏・篠田市長

コーディネーター

鈴木聖二 氏



（日本一のコハクチョウ越冬数）



（パネルディスカッション）



（基調講演）

**12月3日朝 会場：佐潟・鳥屋野潟・福島潟 ワイズユースエコツアー「白鳥の飛び立ち」「探鳥会」**

**12月3日 会場：ウェルサンピア新潟**

**KODOMO ラムサール 東北関東ブロック湿地交流**

（赤塚小学校・葛塚小学校・女池小学校・全国の子どもによる発表、KODOMO 会議）



ポスター展（全国のラムサール条約湿地紹介） ラムサール条約紹介コーナー

参加団体、企業ブース（各団体の活動、環境保全に関する企業 PR）

三つの潟 自然文化（三つの潟写真展、歴史・文化展、潟の食材を使った地元料理）

伝統芸能（赤塚太々神楽） 赤塚中学音楽部合唱 尺八演奏



赤塚中学校音楽部合唱



潟の産物を使った  
「潟にぎり」を販売



満員の会場

# センターからのお知らせ

## 潟普請・第4回佐潟クリーンアップ活動

9月24日、佐潟周辺の環境整備と保全活動・ワイズユースを推進しようと地元有志団体が「潟普請・佐潟クリーンアップ活動」を行いました。昨年までは環境省グリーンワーカー事業の助成事業で行われていましたが、今年から自立方式で進められました。地元の企業や団体、市民団体、市役所の協力の下、前日作業も含め今年は総勢約300名が汗を流しました。



当日は、晴天に恵まれ上潟、下潟を担当する2つの清掃活動班と、ドロ揚げ班、ヨシ刈り班、事前に刈った笹竹を回収するヤブ班の計5班で作業が進められました。作業を終えた参加者は佐潟で採れたハスの実やレンコン、ハス茶などを味わいました。閉会式では潟主の高橋忠男さんが「きれいになった佐潟にまた遊びに来てください」とお礼の言葉を述べ、初めてドロ揚げ体験をした男子中学生は、「ぼくの服は汚れたけど、佐潟がきれいになってとてもよかった」と感想を話していました。

### 参加者の感想(一部抜粋)

- ・ あらためて佐潟は地域の人たちに守られていると思いました。ハスのお茶は、のどが渴いていて、とてもおいしかったです。レンコンもとてもおいしかったです。疲れたけど気持ちの良い疲れでした。とても楽しかったです。
- ・ 将来大人になる中学生参加に感動！小さい時から自然にとけ込むことが大切です。
- ・ ヨシを刈った後の整理は区分けする時に一ヶ所に集中するのではなく、分散すると能率が上がるのでは？
- ・ 途中でコンクリートが投げた道の上にあげました。大人が捨てて子供が拾うという情けない状態です。また、参加しようと思います。

## うなぎ放流体験

10月3日、赤塚小学校の6年生37人が佐潟でうなぎの放流を体験しました。

## レンコン採り体験

10月4日、赤塚小学校の5年生35人が佐潟でレンコン採りを体験しました。子供たちは大きささまざまなレンコンを、どろんこになりながら楽しそうに掘っていました。その場でてんぷらにしておいしそうに食べていました。



かた



## 企画展「もの潟り・ヨシツル工作」教室を開催しました

11月5日(日)佐潟に自生する、ヨシやツルなどの植物を材料に使い、壁掛けや敷物、リースなど、それぞれオリジナルなものをつくりました。潟の産物とおばあちゃんの知恵のコラボレーションを体験しました。

## 佐潟水鳥・湿地センター利用のご案内

【開館時間】9:00～16:30(冬期間の11月から2月の土・日は7:00から)

【休館日】月曜日(但し祝日の場合は翌日)、年末年始(2006年12月29日～2007年1月3日)

佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にFAXかE-mailをください。

編集 佐潟水鳥・湿地センター

〒0-2261 新潟市赤塚5404番地1

電話 025(264)3050 / fax025(264)3051

E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp

発行 新潟市市民局環境部環境対策課

〒951-8550 新潟市学校町通1番町602番地1

電話 025(228)1000(内線)32731